

令和5年度 大阪府立農芸高等学校 第1回学校運営協議会

令和5年7月14日（金）15時～16時30分

1 開会・実施方法について

- ・学校長浦より挨拶

学校運営協議会会の説明

昨年度の意見を踏まえた学校教育計画と評価、改善へ

2 学校運営協議会 委員長選出

- ・文章・意見等による聴取

学校運営協議会委員長：農業大学校長 根来 実 様

3 学校運営協議会委員 意見聴取者 6名

- ・PTA 会長 志摩 様
- ・同窓会会長 田中 様
- ・堺市美原区区长 山田 様
- ・大阪農業大学 根来 様（委員長）
- ・さつき野学園校長 中曾 様
- ・帝塚山学院大学大学院教授 大堀 様

本校

校長、事務長、首席・農場長・教務・進路・生活指導・保健・情報・食品加工・資源動物

4 聴取内容及び意見

(1) 学校教育計画・学校評価について

- ・令和4年度学校経営計画及び学校評価を踏まえ、令和5年度学校経営計画および評価へ

1) 自己診断アンケート形式、教員および生徒の結果より報告。

- ・生徒自己診断：学校全般、保健指導、人権学習と90%を超え、端末利用87%と高い。

- ・例年に比べ地域活動77%、生徒会活動76%とコロナ渦の影響もありやや低い。

- ・施設設備82%と老朽化に伴って低い結果となっている

2) 昨年度の学校運営協議会でのご意見から

- ・ペーパーレス化を進める、施設設備面の改善、働き方の改善、地域との密着について

今年度取り入れていきたい

- ・本年度の取り組みに関しては、授業改善、2学期までの全校生徒の遅刻回数の改善、中退率、

授業アンケートの結果を前期より後期に上げていく努力等をする。

3) めざす学校像について、長期、中期目標の説明

・資料の説明（内容及び数値目標）

・確かな学力の育成と進路保証

授業の座学の充実：昨年はさつき野学園、美原西小学校、生野高校等への授業見学
今年度も実施したい

・農業教育を基盤とした地域創生ジェネラリストの育成

昨年度は農業クラブの近畿大会で受賞、今年度は全国大会をめざす

授業評価について、ポートフォリオやルーブリックを活用し評価の検証へ

高校の学びが変革している（新学習指導要領の概要説明：主体的に学ぶ態度）

・規律・規範の確率と豊かな心の育成

特に遅刻回数の減少に向けた指導へ

・能動的な学校運営体制の確立と教職員の資質向上

産業医との面談、ノー残業デー、合同部活動の実施

ペーパーレス化を進めている、一人一台端末により公務・会議を推進している

電話の対応 8時30～17時とし、6月から働き方改革を進めている（勤務時間内で対応）

リーディング GIGA ハイスクールの説明：電子黒板を活用状況を説明

中退率の減少へ

・地域の農業高校としての広がりのある教育の展開

地域交流の減少へ

美原のイベントへの参加

（ご意見・ご要望等）

・働き方について堺市でも筆頭に挙げられる課題である

・役所でも取り組みを進めており、ペーパーレス化・データ化を進めると良い

・働きやすい環境、生徒も楽しく学べる環境はイコールである必要がある。

・疲弊しては元も子もない。

・御校は GIGA について子どもたちは一人一台あるが、堺市はその使用率は低い現状。

・GIGA 端末の授業改善が進む、子どもたちの居場所が生まれる、授業に参加できている

→自己肯定感が高まる副産物もある、授業が面白いというきっかけになるのではないか

→ひいては中退率の改善へ遅刻率の改善につながるのかもしれない

→教材研究にもつながる、体育ではマット運動を動画で撮り、座学で使用する

→全体のボトムアップに向けて

・心身や発達の違いがある場合でも多面的な教育活動、支援教育があり、広く伝えたい

→主体性をいかに体験と知的かつながりを持って指導することは難しいが、必要不可欠 ・中退率に

ついては進路の変更が多いのか、学力的なものなのか

→改善できるものなのか、状況によって指導が必要ではないか

・授業についていけない、授業が進んでいき、わからないままになっていることもある
→生徒に学力を定着させるため、どの時点でわからないところを確認するなどあると良い

・リーディングハイスクールの学びのシステムはどうされているのか

クラスルームの活用、動画で振り返りができる、黒板を板書、グーグルフォームを使うと採点もできる、理解度も確認できる。

(大阪府は一律 Google エデュケーションを活用している)

農業大学校でも植え付け、農薬の希釈など、動画や授業録画で学び直しできる

・遅刻指導は早朝登校や保護者への連絡など、個別指導を行っている

3年になるほど遅刻が多くなっている

起立性障害の場合は、自分の楽しみや個人の事情に応じて変化する

→指導時には個別生徒の事情は伝えられないため、指導の一貫性の担保が難しい

・中学校では遅刻回数をつけていない。起立性の問題もある。

(2) 教科書採択について

・別紙、第1～3学年および選定理由について説明

補足、農業科の教科書は実教しか教科書が選択できないような状況

(ご意見・ご要望等)

→委員全員より、異議なし

(3) スクールポリシー等について

・別紙、スクールミッション、スクールポリシー(案)について説明

グラデュエーション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの性質について説明

(ご意見・ご要望)

・課題の解決という言葉、今後求められている課題に対して、いかにして能力を高めていくか、この指導を徹底いただきたい。

・人物と人材はどちらが適切か

→スクールミッションについては設置者と要確認

・他者との共同については非常に大切、社会に貢献できる、ここも大切である。人材育成において今後も大切に頂きたい。

→その他、なにかありましたら、メール等でご意見を賜りたい。

(4) その他

・進路指導部より、別紙説明。生徒の進路状況の推移、進路行事の概要

・進学状況の4年生大学、昨年度は7名と国公立大学や私学にも合格している

→志望理由書や自己PR、小論文等での推薦受験で突破している

・就職状況について、本校は指定校求人が80社、その他企業先もある

- ・生活指導より、生徒指導状況について説明
- ・保健部より、養護教諭 2 名体制で実習での怪我も多く、安全な指導体制を望みたい。
- ・情報部より、端末とその利用状況。24.6 が毎回指導、36 が週 2, 3 回の利用。半分の授業で端末を活用している。

5 その他

- ・美原区は古代米プロジェクトに取り組んでいる。田植え体験を実施している。本校生徒も参加しており、無印良品と連携、ラトルチェと連携した商品化も進めている
- ・美原はほとんど参加していない、他市からの参加。行政だけで、今後もつながりを大切にしていきたい。美原商店街での取り組みも、ぜひお願いしたい。
- ・学校はやるべきことが多すぎて、どこで線を引くのか、電話の対応も含めて悩ましいですね。
- ・農業大学校には 5 名参加しているが、非常に活躍してくれている。リーダーシップを持って取り組んでくれている。多様性のある年齢層も多く、学びにも繋がっている。